

# みんなの未来レポート

発行：未来の学校事業運営委員会「Mirai研」

## 流行の先取り、哲学対話！

なぜ「哲学対話」が流行するのか？ 長野県内で「哲学対話」を導入する学校増加中！

- ✓ これからの社会を生き抜くためには、周囲に与えられたことをこなす力ではなく、自ら問いをたて問題解決し、創造していく力が必要となる。
- ✓ 探究学習を行っていく際に大切になるのははじめの「問いづくり」。普段の授業内ではなかなか扱うことの難しい「問いづくり」の学習をじっくりおこなうことで、生徒自身が身の回りの問題や課題を、多角的・俯瞰的にとらえなおし、より質の高い問いをつくれるようになることが期待される。

「哲学対話」ではこんなことが行われます（一部）

### ◆サイレント哲学対話

- ① 紙に自分がつくった「問い」やその答えを書く
- ② ランダムに交換（匿名）
- ③ 回ってきた紙に書かれた「書いた人の問いと、それに対する書いた人自身の答え」に対し、質問を書く
- ④ ランダム交換を2回行い、最後に自分の手元に戻ってくる



### ◆人生すごろく

サイコロを振って出た数だけコマを番号順に進め、止まったマスの質問に答える人生の各時点でのことについて、グループの仲間に対して過去を思い出しながら答える。今回は、このゲームで使うための質問を、生徒自身で考えました。

☆小学生へ  
将来の夢はありますか？

☆20～30代の人へ  
学生時代の中で後悔していることは何ですか？

☆40～50代の人へ  
今生きていて楽しいと感じるときはどんな時ですか？

☆60～70代の人へ  
これまでの人生、満足ですか？

☆80～100代の人へ  
今までで一番輝いていた瞬間は？

### ◆紙上対話

- ① 特定の誰かに対して向けられているわけではなく、誰かが答えを知っているわけでもなく、答えが決まっているわけでもない、「問い」をたてて用紙に記入する
- ② その「問い」に対する答えを理由を含めて自分で記入して、他の人に回す（匿名）
- ③ ランダムに回ってきた他の人の「問い」に対する答えや理由に対して質問を書いて他の人に回す



1年生を対象に、4月と9月に、長野県立大学の馬場先生をお招きして実施しました！

人生のゴールとは何か？

自分にとって大切なものが大切だと気付けるのはいつなのか？

### ◎生徒の感想

- ・自分以外の様々な人の考えや価値観を知れて自分の考えなどが広がったと思った。
- ・不思議だなと思うことはたくさんあるが、それについて深く考えることはなかったので、人の意見を聞きながら自分の意見を持つことができ、よいとおもった。
- ・自分がこれだって思った意見でも、1回客観的に見てみて、他の意見があるかもしれないなと考えてみようと思うようになりました。
- ・今回2回目の哲学対話でしたが前より緊張もなく自分が思うことを素直に書くことが出来ました。改めて人それぞれで考え方も違うし、見方も違うし、その多様性に今回驚きました。この2時間で様々な見方で物事を考えることが出来ました。



～長野県飯田風越高等学校～

国際的な教育プログラムを研究する高校

